

ドイツ・ビュアシュタット市 体操祭へ参加して(抜粋)



ドイツ・ビュアシュタット市で3年に1度開催される体操祭へ参加してきました。

7月15日(月)から23日(火)までの9日間の日程で、皆野中学校2年生を中心とした14人が合気道の演武を披露し、13か国37チームの参加者と交流しました。

ビュアシュタット市訪問の感想を抜粋で紹介します。

小林 愛里
私は、今回のビュアシュタット市体操祭参加を通してたくさん経験を得ることができました。

体操祭当日は会場いっぱい多くの観客がいて驚きました。他の国の演技は、レベルが高いし、観客も盛り上がりだっていたので、自分たちの合気道がどの国の人も認めてもらえるか少し心配になってきました。時間が早まり、自分たちの出番が予定していたより早くきました。練習もあまりできないまま舞台上上がったので、幕が開くとたくさん観客が拍手と声援で迎えてくれたので嬉しかったです。私は最初と最後の号令をすることになっていたので、本番では練習の何倍も大きな声を出したけれど、列の端まで声が十分に届かないくらいに盛り上がりでした。でも、その拍手や声援が私たちの不安を消してくれました。今までの練習の成果を発揮した演武ができたと思います。演武の後には、必ずほとんどの人が温かい拍手をしてくれたのがとても嬉しかったです。

今回のドイツ訪問では、日本とは違う文化や生活を実際に経験して学べたので本当に良い機会になったと思います。また、外国との交流をより深めることができました。

一生残る、最高の思い出になりました。

金子 杏珠

私は、去年の9月頃から合気道を習い始めました。初めの頃は何をしているかわからなかったけど、だんだんわかるようになり上達していききました。体操祭が近くなると、発表する技を自分のペアの人と練習を始めました。ペアの人と力を合わせて、たくさん練習をしました。本番

のビュアシュタット市体操祭では、練習の成果を発揮して一番いい演技ができたと思います。他国のすごいバク転を見たり、他国の人たちと写真を撮ったりして交流ができました。

ドイツでは、シユパイアー、ハイデルベルク、リユーデスハ博物館などを見学しました。

ホームステイでは日本とは違う生活と食べ物が見られました。靴を履きながら生活するのが一番印象に残りました。

合気道以外にも、ドイツの歴史や文化に触れることができたこと、また、友達とたくさん思い出ができてよかったと思います。

井上 愛海

私は、今回、皆野合気道チームの一員としてドイツに行き、多くのことを学びました。

ホームステイ先では、はじめは少し緊張してなかなか話ができませんでした。けれど、だんだん英語やジェスチャーで会話ができるようになり、ホストファミリーの方と打ち解けることができました。

本番のビュアシュタット市体操祭ではとても緊張しましたが、舞台上に立ったときはすごく気持ちが良かったです。「ここまで5年間あきらめずに続けてきて良かった」と思いました。そして、日本の代表として、精一杯演武を行い、今までの練習の成果を発揮することができました。

これからもっと合気道の技を磨いて、「合気道を見る人にもっと感動を与えたい。もっと多くの人に合気道の良いところを知ってもらいたい」と思っています。

黒澤 杏美

私は、皆野合気道チームの一員としてドイツ・ビュアシュタ

ット市体操祭に参加しました。体操祭で発表する時はとても緊張しましたが、いい演技ができました。

他の国の人たちの発表はアクロバティックなものが多かったです。バク転などの演技はすごかったです。

ドイツでは、ホームステイで過ごしました。言葉はわからなかったけれど、ジェスチャーでなんとか通じ合うことができました。

皆野町は自然に恵まれ、素敵な所がたくさんありますが、ドイツには皆野町にはない、可愛い建物や店があったので、「ドイツにも住んでみたい」と思いました。

ビュアシュタット市の人たちが皆野町に来たら、私を感じたように、「住んでみたい町だな」と思ってもらえると嬉しいです。

駒井 美紅

7月15日。いよいよ私たちがドイツに行く日となりました。私は初めての海外だったので、いろいろと心配なことがありました。けれど、私たちを迎え入れてくれたホストファミリーの人たちはとても優しく、本当の家族のように私たちに接してくれましたので、心配が一気に打ち消されました。

「Have two daughters! 私たちには、2人の娘がいま、と言ってくれた事は忘れられません。

体操祭では、本当にたくさん国の人がきていて、圧倒されました。私たちは、他国からみれば、日本の代表となります。そんな思いから、1回目の発表はとても緊張しました。けれど、他国の人たちが会場を盛り上げてくれたので、だんだんと緊張がほぐれていきました。

2回目の発表も失敗せずに堂々と合気道を発表することが

できました。

ドイツの観光では、シユパイアー博物館、ハイデルベルク城、シユヴェツインゲン、ライン川など、見るものすべてが、日本の中では決して見られない、素晴らしい景色で感動しました。広い世界を自分の目で見られたことは本当に大切な宝物になりました。

今回ドイツに行けたのは、たくさんの方の支えがあったからだと思います。家族やホストファミリー、戸口先生など多くの人に感謝したいです。

若林 伽奈

私は、今回初めて海外へ行きました。ドイツでの食事や生活などは不安な反面、とても楽しみました。また、ビュアシュタット市体操祭では、日本の合気道が他の国の人達にきちんと伝わるか心配していました。

舞台の幕が開き、会場内から拍手と歓声が湧き起こり、気持ち引締められた感じがしました。私たちの順番がきた時、「精一杯頑張ろう」と心を決め、演武を始めました。

会場の後方から観ている人にもわかるように、技を大きくしたり、ゆっくりしたりと、工夫をしました。演武が終わった後、会場内の皆さんから大きな拍手をもらったので、とても嬉しかったです。

私は、ドイツでの経験を胸に刻み、将来に生かしていきたいと思っています。

こうした素晴らしい体験をさせていただいた関係者の方々に感謝をしたいです。

逸見 茉以

今回のビュアシュタット市体操祭へ参加するに当たって約1年間、戸口先生の指導のもと週3回の合気道の練習をしてきました。